2　資金不足額解消の状況

（単位：千円）

区分＼年度	計画初年度の前年度	計画初年度（21年度）	第２年度（22年度）	第３年度（23年度）	第５年度（25年度）
当初計画　A		126,430	49,596	122,497	253,701
解消実績額　B		186,834	88,332	—	—
現在計画　C		—	88,332	66,941	236,999
B－A又はC－A		60,404	38,736	△ 55,556	△ 16,702
資金不足額	884,600	697,766	609,434	542,493	56,554

3　資金不足比率の状況

（単位：%）

資金不足比率＼年度	計画初年度の前年度	計画初年度（21年度）		第２年度（22年度）		第３年度（23年度）	第５年度（25年度）
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値
資金不足比率	66.9	60.6	55.1	59.4	50.5	50.6	7.1

愛知県名古屋市　自動車運送事業会計
経営健全化計画実施状況報告（要旨）

1　計画と具体的な措置の状況

・資金不足額：平成22年度の実績額60億円。計画額86億円より26億円の改善。
〔26億円の内訳〕
平成21年度に14億円の改善
平成22年度に12億円の改善
（・収入増加方策及び支出抑制方策の効果額が計画を13億円上回った。
・一般会計補助金を計画より１億円縮減した。）

・資金不足比率：平成22年度の実績値31.7%（計画値44.9%）。

・収入増加方策
乗車券サービスの向上やＩＣカード「マナカ」の導入など、積極的な乗客誘致に努めたことから運輸収益は計画を上回ったものの、広告料収入の減などにより営業収益は計画を下回ったが、特別利益が計画を上回り、効果額は計画を２億円上回った。

・支出抑制方策
給与カットの継続及び生涯賃金で約20%の減となる給料表の適用など人件費の抜本的な効率化や、自動車燃料費をはじめとした経費の節減等の効果額は、計画を11億円上回った。

・自動車運送事業会計への他会計からの出資
高速度鉄道事業会計及び一般会計から、計画どおり出資を行った。

2　資金不足額解消の状況

（単位：億円）

区分＼年度	計画初年度の前年度	計画初年度（21年度）	第２年度（22年度）	第３年度（23年度）
当初計画　A		△ 9	28	9
解消実績額　B		5	40	—
現在計画　C		—	40	9
B－A又はC－A		14	12	0
資金不足額	105	100	60	51

第４年度（24年度）	第５年度（25年度）	第６年度（26年度）	第７年度（27年度）	第８年度（28年度）
4	5	2	11	16
—	—	—	—	—
4	5	2	11	16
0	0	0	0	0
47	42	40	29	13

3　資金不足比率の状況

（単位：%）

資金不足比率＼年度	計画初年度の前年度	計画初年度（21年度）		第２年度（22年度）		第３年度（23年度）
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	55.3	61.0	53.6	44.9	31.7	39.6

第４年度（24年度）	第５年度（25年度）	第６年度（26年度）	第７年度（27年度）	第８年度（28年度）
計画値	計画値	計画値	計画値	計画値
37.7	35.1	34.1	28.0	19.9

4　その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

・お客様サービスの向上
アイドリングストップシステム付き低公害ノンステップバスの購入、平成23年３月の地下鉄桜通線野並・徳重間の開通に伴う、鳴子北バスターミナルの新設及び徳重交通広場の活用による、地下鉄との乗り継ぎ利便性の向上を図るなど効率的で利便性の高いバス路線への再編成、接客コンクールの実施など、安心・安全で快適なサービスの提供に努めた。

・活力ある職場づくり
「人財育成プログラム」の導入準備を進めるとともに、市バス運転技能競技会を実施するなど、職員がいきいきと働くための職場づくりに努めた。

・計画の進行管理
外部有識者の意見を踏まえ進行管理を行うため、名古屋市交通事業経営健全化委員会を設置し、５月及び11月に開催した。